

ほっかいどう NIE 通信

Newspaper in Education

発行 北海道NIE推進協議会

〒065-8711 札幌市中央区大通西3丁目6 北海道新聞社内
TEL 011-210-5802 FAX 011-210-5826

04年度の道内のNIE実践指定校は、03年度と同じ計30校が内定した。北海道NIE推進協議会は、このうち24校を第1次分としてこのほど日本新聞教育文化財団(横浜市)に推薦し、5月12日に開かれる同財団NIE委員会で正式決定する予定。同協議会はさらに実践終了校5校を別途に「独自ワク」として認定することにしており、04年度の実質的な実践校は総計35校と前年度より3校増える。

現行の実践校推薦制度は同財団と報道各社が新聞購読料を負担して、全国の小中高校総数の1%に当たる約400校を上

限ワクとして実施し、このワクを北海道に当てはめると28校となる。しかし道内では学校側のNIEへの関心度が比較的高い

く、「03年度は上限を超える参加申し込みがあったため特別に30校まで認められた」。本年度も同様に参加希望

校の中から、計5校を選ばれました。NIEを取扱い始めたばかりの「職業生活」の事前学習にNIEを取入れました。苦小牧アマウトナイ湖・サンクチュアの「夫婦別姓」など10のテーマに絞り、自分が希望するテーマのグループ登場です。

た」「テーマについて深く考えた」などいい反響がありました。東中学校に来てからは、総合的な学習の事前学習にNIEを取り入れました。苦小牧アマウトナイ湖・サンクチュアの「夫婦別姓」など10のテーマに絞り、自分が希望するテーマのグループ登場です。

「独自ワク」でも5校を予定へ

校を推薦することにした。このうち第1次分の24校は小学校5校(うち新規実践3校)、中学校11校(同5校)。特に新学習指導要領に基づく教科「情報」や「総合的な学習の時間」などの本格導入を背景に、高校サイドでの関心の高まりが目立っている。

第2次分は近く6校(いずれも新規実践校)を推薦し、7月上旬のNIE委員会で正式決定される見込み。同協議会は

01年度から04年度まで4年間にわたるNIE推進事業計画に基づいて実施されてきたが、実践希望

校の増加により北海道を始め各地から増ワクが求められている。

現行の「1%ワク」は実践校の增加により北海道を始め各地から増ワクが求められている。

う学校側の熱意に応えるため、新聞購読経費をやりくりして03年度から始めた措置で、初年度は札幌市内の中学校2校を認定した。

このため第1次分の24校は小学校5校(うち新規実践3校)、中学校11校(同5校)。特に新学習指導要領に基づく教科「情報」や「総合的な学習の時間」などの本格導入を背景に、高校サイドでの関心の高まりが目立っている。

第2次分は近く6校(いずれも新規実践校)を推薦し、7月上旬のNIE委員会で正式決定さ

れる見込み。同協議会は

01年度から04年度まで4年間にわたるNIE推進事業計画に基づいて実施されてきたが、実践希望

校の増加により北海道を始め各地から増ワクが求められている。

う学校側の熱意に応えるため、新聞購読経費をやりくりして03年度から始めた措置で、初年度は札幌市内の中学校2校を認定した。

春を探しに



春めいってきた。誘惑が多かったため、計30校を推薦することにした。このうち第1次分の24校は小学校5校(うち新規実践3校)、中学校11校(同5校)。特に新学習指導要領に基づく教科「情報」や「総合的な学習の時間」などの本格導入を背景に、高校サイドでの関心の高まりが目立っている。

このため第1次分の24校は小学校5校(うち新規実践3校)、中学校11校(同5校)。特に新学習指導要領に基づく教科「情報」や「総合的な学習の時間」などの本格導入を背景に、高校サイドでの関心の高まりが目立っている。

このため第1次分の24校は小学校5校(うち新規実践3校)、中学校11校(同5校)。特に新学習指導要領に基づく教科「情報」や「総合的な学習の時間」などの本格導入を背景に、高校サイドでの関心の高まりが目立っている。



「スクラップ・ノート」の勧め

室蘭市立東中学校教諭

宮重 徹三

ごとに意見交換するもので、「家族の意見も聞く」といういわゆる「ファミリー・フォーカス」なども加えました。生徒たちからは「いろいろな意見がある」と思つた

り見学旅行の前に「自然保護」のスクラップ・職場訪問の前に「職業生活」のスクラップ、というよ

うに。私は約12年間、主に「スクラップ・ノート」とい

うに。私は約12年間、主に「スクラップ・ノート」とい

うに。私は約12年間、主に「スクラップ・ノート」とい

実践をしました。これは、生徒たち70人がスクラップした新聞記事のノートの中から、「保健室登校」など10の

く、「03年度は上限を超える参加申し込みがあったため特別に30校まで認められた」。本年度も同様に参加希望

校の中から、計5校を選ばれました。NIEを取扱い始めたばかりの「職業生活」の事前学習にNIEを取り入れました。苦小牧アマウトナイ湖・サンクチュアの「夫婦別姓」など10のテーマに絞り、自分が希望するテーマのグループ登場です。

た」「テーマについて深く考えた」などいい反響があ

りました。東中学校に来てからは、総合的な学習の事前学習にNIEを取り入れました。苦小牧アマウトナイ湖・サンクチュアの「夫婦別姓」など10のテーマに絞り、自分が希望するテーマのグループ登場です。

う形でNIEをやってきたわけですが、これに取り組んでくれた生徒たちに感謝したい。毎月2つ以上切り抜きをし、粗筋と感想を書いてグリ

りました。ある新聞記者さんが、生徒たちのノートを見て、「今の子供たちに原愛さんがアーティスト五輪卓球の天才少女15歳の王子サード」は子供たちの間で大流行▼サカナ君は若駒のようなら、雪がかかる草を除くと冷やかに色付いている。木々の枝に春芽が膨らんで春の鼓動が伝わってくる。枯れ林に春探しに出かけた。誘惑が多かったため、計30校を推薦することにした。このうち第1次分の24校は小学校5校(うち新規実践3校)、中学校11校(同5校)。特に新学習指導要領に基づく教科「情報」や「総合的な学習の時間」などの本格導入を背景に、高校サイドでの関心の高まりが目立っている。

研ば力でらけ力、基礎力をつける
わが校は昨年度からNIE実践指定校として活動しています。「話力・聞く力」をはじめとする力で、自らの本の基礎を伸ばすため、さまざまな研究を進めており、そ



て昨年9月から12月までの4ヵ月間、日本新聞教育文化財団から一般日刊紙7紙の提供を受けた。まず職員室前でテープルを並べて各紙を見開きにし、生徒や先生、父母などれでもいつでも新聞に触れる機会を作った。

大変だからこそ価値がある

NIE実践2年目を迎えて

豊頃町茂岩小学校教諭

阿部英一

のひとつの手だけでとじて新聞を活用しています。活動開始当初は毎日届く新聞の量に圧倒され、少し気後れした部分もありました。図書室にコーナーを作り、子どもたちに読んでもらおうとしましたが、一部の児童が読むだけでも、思ったように活動がありました。が広がらず、焦ることもありました。

そんな中、昨年の十勝沖地震があり、図書室が使えなくなったり、校内施設の活用を含め新聞活用の方法も見直してみました。高学年の児童が活用しやすいう、コンピューター室を設置場所とし、その整理や管理を子どもたちに任せました。このところから、子どもたちが新聞をする機会がますます増えはじめました。

た。5・6年生は新聞から資料を探すようになり、3・4年生も高学年に刺激されて新聞づくりに取り組んだり、スクラップブック活動を始めるようになります。たゞ少々時間はかかりましたが、ようやく子どもたちの活動の輪が広がってきましたと実感しながら、1年目の活動は終わりました。

た。もちろん、他の先生方の理解や協力があつてのことです。NIE実践指定を受けるということは、めったにないこと。せっかくのチャンスだからい

ます。実践2年目に入り、「今年はもう新聞は来ないの?」と尋ねる子や、春休みに自ら進んでスクランプをしてきた子もいました。1年前に比べ、児童の意識もずいぶん変わってきたように感じています。

厳しい時数の中、新しい何かを始めていくのは、非常に大変なことです。しかし、大変だからこそ得るものもたくさんあると感じています。2年目も頑張っていきたいと思う今日このごろです。

新聞通じ「環境」考える

◇静内中学校◇

家庭科でユニークな授業

同校は実践指定校として昨年9月から12月までの4ヵ月間、日本新聞教育文化財団から一般日刊紙7紙の提供を受けた。まず職員室前でテープルを並べて各紙を見開きにし、生徒や先生、父母などれでもいつでも新聞に触れる機会を作った。

家庭科での取り組みは3年生3クラス100人を対象に、保育の授業で実践した。主題は「人間が人間として成長するには」。

①人間の成長段階では、環境が大きくかかわり、子どもの知能の発達も大きく影響することを知る②身近なところで起きている社会事象を知



職員室前で新聞に見る生徒たち

り、将来の自分のあり方について考えることがで

きるなど狙いとした。

ユニークな実践活動を繰り広げた。活動の中重心となつた恩田敏子教諭からいただいたりポートの一端を紹介する。

最初に使った新聞記事は、2歳の娘の世話をさせたが、なぜ覚醒剤におぼれてしまつた24歳の母親に關する記事。子どもに与えていい環境とはどんな環境かを考え、深めの記

事記事を生徒たちに読み

て発表させた。生徒の反応は「覚

醒剤は絶対ダメ。『A子ちゃんがかなりの母親になりました』、「母親もひどいけど、まわりにいた人もどうし

てA子ちゃんの存在を気にしているのかな」と疑問に思つたなど。

次いで幼児虐待に関するニュースを取り上げ、幼児が死んでしまうと

いう悲惨な結果になる前に、だれかに相談するなどどんな手立てが考えられたか、を話し合

小林NIE協会長が退任

後任には山田氏が内定



小林甫会長

(敬称略)

5月下旬に予定されている同協議会通常総会で正式決定する。

小林氏は同協議会が

E推進活動の先頭に立

ち、普及・発展に尽くし

てきた。特に02年8月に開かれたNIE全国

大会・札幌大会では実行

委員長を務め、多メ

ーディニア

環境の中のNIE

が「教室を中心主義」から

脱皮し、生涯学習のひ

とつとして地域社会の中

に生きること、人間として

生きること、これらのも

とつがついてい

るはどこか、そして母

親の役割は、などが論点になつた。

各発言者から多様な意見を引き出した。

「NIEは知ること、

為すこと、他者とともに

生きること、これらのす

いふことが念願だ。

小林氏は退任にあた

り「小・中・高各段階で

SHONでは司会者として

各発言者から多様な意見

を引き出した。

Eをテーマにした大会

初日のパネルディスカッ

ションでは司会者として

各発言者から多様な意見

を引き出した。

SHONでは司会者として

北海道NIE推進協議会 役員(2004年4月現在)

顧問	相馬秋夫	北海道教育委員会教育長
同	松平英明	札幌市教育委員会教育長
会長	小林甫	北海道大学名誉教授
副会長	金丸浩一	北海道教育委員会生涯学習部学校教育局長
同	佐々木一壽	札幌市教育委員会学校教育部長
同	遠藤紘之助	北海道新聞教育研究会会長 (前札幌市立上野幌中学校校長)
同	若山茂樹	十勝新聞教育研究会会长 (帯広市立南町中学校校長)
同	鏡谷光司	日本新聞教育文化財団NIE副委員長 (北海道新聞取締役社長室長)
幹事	石崎悦郎	読売新聞北海道支編集部報道課長
同	松野修志	共同通信札幌支社長
同	工藤英重	室蘭民報常務取締役編集局長
同	島田裕	北海道NIE推進協議会事務局長
監事	川口正憲	毎日新聞北海道支社報道部長
同	松井	日本経済新聞札幌支社編集部長



道内から5人

活動推進の旗振り役に



上村 尚生氏



三上 久代氏



小林 直樹氏



毛利 穎晴氏



日下部 憲一氏

5人の中でもただ1人、現職校長である日下部憲一・札幌市立米里中校長

「総合学習で新聞活用」

日本新聞教育文化財団が本年度創設した「NIEアドバイザー」に、道内から5人の実戦経験豊かな先生が就任した。今後2年間、NIE推進活動の旗振り役としてご活躍いただく。全国では今年、北海道分も含め25人前後のアドバイザーが誕生する予定だ。道内の5人の方々の活動歴、抱負などを紹介する。

朝日新聞のNIE活動のシンボルは「ののちゃん」だ。春、夏の2回、「ののちゃんの自由研究」というカラーリーの大型ペーパーがシリーズで登場する。このちゃんとは朝刊社会面の4コマ漫画の主人公で、自分の分身ともして感情移入するのにもつてこないのだ。

朝日新聞のキャラクターとして、2000年4月、まず教育のページに登場した「せんせいおしえて」のコナーは「ののちゃんのふしぎ玉手箱」として科学面に移り、NIEコナーとしての森羅万象を「藤原先生」に質問する仕掛けだ。藤原先生も毎朝の4コマ漫画に登場するキャラクターの一人。漫画の世界にいるノリで、先生が「Q&A形式で、難しい話をかみ砕いて教えて」

朝日新聞 記者講演も活発に

シンボルは「ののちゃん」

は「新聞は生きた教材として世の中の情報を満載している。総合的な学習の時間などで積極的に活用していく」という。

7年前からNIEの実践活動を始め、校内に新聞の「トップニュース」を掲示したり、教職員への新聞活用の啓もうに努めてきた。また、総合学習に活用できる実践ワークシートを編集するなど意欲的だ。

7月に新潟で全国大会

来年は鹿児島に決定

第9回NIE全国大会（日本新聞教育文化財団主催）は7月29、30日の2日間、新潟市の朱鷺メッセで開かれる。また、来年夏の第10回大会は鹿児島市で開かれることが決まった。



NIEの環境としてインチロー選手にインタビューする子ども記者たち
99年11月

るうか。ののちゃんは朝日NIEのキャラクターとして、2000年4月、まず教育のページに登場した「せんせいおしえて」のコナーは「ののちゃんのふしぎ玉手箱」として科学面に移り、NIEコナーとしての森羅万象を「藤原先生」に質問する仕掛けだ。藤原先生も毎朝の4コマ漫画に登場するキャラクターの一人。漫画の世界にいるノリで、先生が「Q&A形式で、難しい話をかみ砕いて教えて」

の活字媒体として「朝日新聞は年少者向け」といっている。朝日新聞は年少者向け

と新潟日報社が主管する。29日午後1時から式典があり、作家の工藤美代子氏が記念講演。次いで「子供の可能性が高まるNIE」地域や学校の連携を視野に「とある力を持ったことを誇らしくも進めた」と話す。「実践教師をもっと増やし、実践者のネットワークづくりも進めたい」と話す。「実践教師をもっと増やし、実践者のネットワークづくりも進めたい」と話す。「実践教師をもっと増やし、実践者のネットワークづくりも進めたい」と話す。

旭川市立東陽中の小林直樹教諭は、実践に取り組んで5年目を迎える。担当の社会科だけでなく、特別活動・道徳にも積極的に取り入れ、NIEの効果的か?新聞を導入した指導実践資料の蓄積――などの研究に力を入れてきている。オランダ、ノルウェー、フランスなど海外のNIE事情視察経験が豊富。国語科教師としては言葉の使い方、文章の書き方などの指導に新聞を活用している。

札幌市立日新小の上村尚生教諭は、昨年10月に開かれた北海道NIEフェスティバルで講師を務め、NIEについて講義するなど、道内のNIE活動の中核的な存在。新聞の人生相談欄を使って生徒に回答を書かせ、社会への関心を高めてもらうなどユニークな実践を行っている。「実践教師をもっと増やし、実践者のネットワークづくりも進めたい」と話す。「実践教師をもっと増やし、実践者のネットワークづくりも進めたい」と話す。

直樹教諭は、実践に取り組んで5年目を迎える。担当の社会科だけでなく、特別活動・道徳にも積極的に取り入れ、NIEの効果的か?新聞を導入した指導実践資料の蓄積――などの研究に力を入れてきている。オランダ、ノルウェー、フランスなど海外のNIE事情視察経験が豊富。国語科教師としては言葉の使い方、文章の書き方などの指導に新聞を活用している。

上村尚生

氏

田中編

